



橋本建設株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 橋本 直哉

SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能な社会実現のため、地域のパートナーシップを更に深めていく

- 当社は、地元川越市にて50年以上にわたり地域貢献を第一として土木工事業を行っており、地域の方々のために『コンビニエンスストア（ファミリーマートFC）』も2店舗経営しています。
- そのため、埼玉県や川越市と災害協定を締結しており、自然災害時（降雪、地震、他）に『地域の応急復旧業務』を担っているほか、コンビニエンスストアの店舗は『防犯・見守り拠点』として機能しており、地域の安全に日々貢献しています。
- 今後も、パートナーである同業者や自治体等の数を増やしていき、地域貢献を行っていきます。また、地域人材を積極的に採用し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



【指標】

2023年 協力している同業者や自治体等のパートナーの数 15社/団体 ⇒ 2030年 20社/団体
地元人材の採用 ⇒ 2030年まで 累計 7名

従業員が安心して働くことができ、スキルアップできる職場

- 従業員の健康が第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、作業現場での安全対策を徹底していきます。
- ワークライフバランスが実現できる職場を目指すため、有給休暇取得率の向上を目指します。同時に、働き方改善につながる仕組みや制度の導入を継続的に行い、働き方改革を進めていきます。
- 業務に必要な資格取得を積極的に推奨していきます。そのために、資格取得に係る費用を補助していくほか、従業員の計画的な資格取得を応援していきます。



【指標】

2023年 有給休暇の平均取得日数 5.5日 ⇒ 2030年 10日 (+4.5日)
働き方改善につながる仕組みや制度の導入数 ⇒ 2030年 累計 7件
2023年 業務に必要な資格の平均保有数 一人当たり 3件 ⇒ 2030年 10件 (+7件)

女性を積極的に採用し、ダイバーシティ経営を推進する

- お互いにコミュニケーションのしやすい職場づくりを推進し、多様な働き方に関する制度を充実させ、再就職したい女性を積極的に採用していきます。
- また、女性のリーダーを計画的に育成していきます。



【指標】

2023年 女性従業員の割合/女性リーダーの数 16%/0名 ⇒ 2030年 29%/2名

土木工事業の環境負荷を低減していく

- 社有車や重機のアイドリングストップを徹底していくほか、現場へはできる限り車を乗り合わせて向かい、CO2排出量の削減に取り組みます。
- 働き方改革の観点からも、業務のシステム化や効率化を進め、社内のペーパーレス化を進めていきます。
- 顧客にはエコ資材（リサイクル砕石・アスファルト、他）の提案をしていき、環境にやさしい土木工事業を行っていきます。また、資材や消耗品の誤発注を無くし、廃棄物となる資材等を減らしていきます。
- コンビニエンスストア事業では、本部への適正な発注量をこころがけ、フードロス削減に努めていきます。



【指標】 2023年 コピー用紙の使用量 30,000枚 ⇒ 2030年 24,000枚 (▲20%)